

2023



島根と近づく
人の輪つながる

vol.2

関係人口

connected mind

受入事例集

地域外に住みながら地域と多様にかかわる人たち『関係人口』と一緒にあって、
新たな地域づくりに取り組んでみませんか。

しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち!」は、『地域の方々と
関係人口が一緒になって地域に変化を起こす。』そんな手助けをしています。

この冊子では、サイト「しまっち!」などを介し、関係人口とともに
新たな地域づくりに挑戦しているみなさんをご紹介します。

公益財団法人 ふるごと島根定住財団





外部の視点でふるさとの

“当たり前”を資源に



奥出雲町追谷地区

追谷活性化協議会「ぼくらの学校」

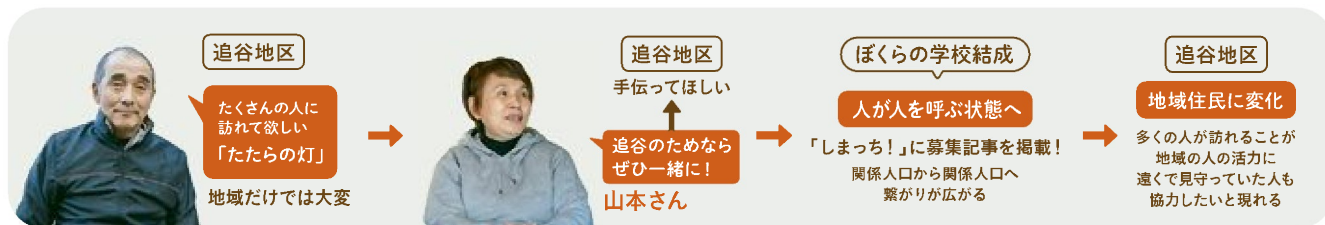
活動の様子をご紹介します

美しい棚田が広がる奥出雲町追谷地区。棚田の保全と地域活性化を目的に、田んぼの畔^{あぜ}をライトアップする「たたら^{あぜ}の灯」を2016年から開催してきました。幻想的な風景を楽しみに町内外から多くの人々が訪れますが、その裏には追谷の皆さんの苦勞が。灯りを点すためのペット虫の整備や準備が、全戸30軒を切る追谷地区の方々だけでは、とても大変。

ある時、追谷の方々は一人的女性に「たたら^{あぜ}の灯を手伝ってほしい」と声をかけます。それが米子市在住の山本博美さんです。山本さんは追谷の風土が好きで時々遊びに来ている方でした。声をかけられた山本さんは米子

の友人と一緒に頻りに追谷へ通うように。追谷の農事組合と協力して田植え体験も開催しました。

そして2019年には、追谷にもっと多くの人に訪れて欲しいと考える^{ぼくら}と蔵さんと山本さんとが中心となり、追谷活性化協議会「ぼくらの学校」を結成。農業体験を中心に、追谷地区へたくさんの人を呼び込んできました。さらに2022年は「しまっち!」を通じて関係人口を募集。住民だけで苦勞していたペット虫整備が、住民と関係人口の交流の場に。さらに空き家の整備も関係人口とともに行いました。そんな様子を見た住民も、徐々に積極的な気持ちと姿勢へと変化。関係人口拡大の好循環が始まっています。





古民家リフォーム



たたらふいご職人の家だった築120年の古民家を、地域の人や関係人口の交流拠点にするプロジェクトがスタート。2022年7月に2日間かけて1階の床張りを実施しました。当日は出雲や米子など町外からも参加者があり、きれいな床が完成しました。

関係人口の声

建材に建築当時書かれた文字が残っていたり、古い道具があったり、ワクワクしました。次の改修作業もぜひ参加したい!

地元の方と一緒に、床を支える束石を取りに川へ行きました。大雨に遭い濡れてしまいましたが、そういう体験も日頃できないので新鮮でした。

「たたら」の灯」準備・設置作業



田んぼに設置する照明器具約6000個の点灯確認からスタートし、畔に一つ一つ設置していきました。地道な作業が続きましたが、その分達成感はひとしお。作業後は古民家で火鉢の火起こしを体験し、おでんと焼き芋を作ってワイワイ交流しました。

関係人口の声

自分が設置した照明が点っている景色に感動! 来年はもっとキレイに設置できるよう工夫したいです。

設置作業はもちろん、火鉢で焼き芋を焼いたのも面白かったです。つい夢中になってしまいました。



関係人口が地域の活力に

地域外の人たちが訪れることで、地元の間が気づかない新しい魅力に気づかせてもらったり、さらに地元住民にもいい効果があると感じています。地元の90歳の女性が子どもたちに鎌の使い方を教え、充実感に満ちた笑顔を見せていました。住民が生きがいを見出すきっかけになるのもいいですね。関係人口の取り組みが盛り上がるにつれ、お手伝いを申し出てくれる人や、農業や電気工事など技能を生かして協力したいという人も町内外から出てきています。地域外の人に関わってもらおうこと、足を運んでもらうことが活力になるのだと実感しています。

ぼくらの学校 ト蔵 秀雄さん

地域の人や自然に元気をもらっています

地域と農業の未来を守るため、米子市の仲間や子どもたちと一緒に体験しながら学ぶ機会を作りたいと思っていました。最初は遊びがてらちょっとしたお手伝いに来ていたのに、いつの間にか企画や運営にしっかり入っていました! 追谷の方は皆さんあったかくて、いつも元気をもらっています。もうここは第二の故郷のような場所。今後も一緒に楽しみながら活動を続けていきたいです。

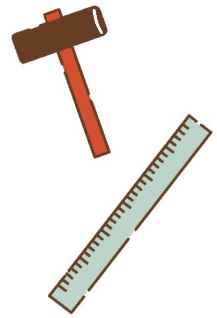
山本 博美さん



∥ 古民家改修で古書カフェに ∥

つづりのバージョン ワークショップ

(江津市 都野津街並みの会)



活動の様子をご紹介

赤瓦の屋根が映える江津市都野津町。街とともに時を重ねてきた家々が立ち並び、石州瓦の窯業で栄えた往時の面影が残ります。しかし、近年は空き家が増加。昔ながらの風景と賑わいが失われつつあります。「都野津街並みの会」では、街歩きイベントや空き家・空き地の活用を展開。新たな賑わいの創生に取り組んでいます。2022年春、築90年の建物をカフェに生まれ変わらせる計画がスタート。作業を通じて都野津に興味を持ってもらおうと、10月に断熱処理、11月に内壁仕上げのワークショップを開催しました。広島からやってきた古民家好きのご夫婦、建築を学ぶ学生さん、地域内のUIターン者など約20人が参加。建築のプロの指導のもと、賑やかに作業を行いました。昼休憩には近くの古民家で、カフェのオーナーさん手作りのキーマカレーに舌鼓。街歩きの時間も設け、全身で街の魅力を感じてもらう一日になりました。



リーダーの声

都野津の街並みを守っていくためには、空き家の活用が不可欠。購入して住んでもらえるのがベストですが、まずは楽しみながらこの街のファンになってもらおうと、参加型の取り組みを進めています。断熱ワークショップには県外から参加があり、「楽しかったから内壁仕上げの回には友達も連れて来るよ」と言っていただき、2回目には実現しました。街歩きでは「こんなに趣のある風景があったなんて」「石州瓦ってきれいなんですね」と嬉しいコメントが聞け、ファンづくりの一步になった手応えを感じています。地元の参加者も、一人、二人と増え、カフェのオープンを楽しみに待ってられます。

「しまっち!」は参加者の募集だけでなく、レポートを提出すると写真付きできれいにまとめて公開してもらえます。実績をアーカイブでき、サイト内で募集した取り組み以外の活動記録も公開できるので、今後のPRに活用していきたいです。

カフェのリノベーションは今年度でひとまず終了します。今後も町内にある他の古民家を使ったイベントなどさまざまな取り組みを検討中。「しまっち!」サイト内のコミュニティやコメント機能も活用しながら、関係人口の輪を広げていきたいです。

都野津街並みの会

会長 寺井 秀雅さん / 事務局長 竹口 浩司さん



▲竹口浩司さん(左)と寺井秀雅さん(右)

check!

詳しい活動の様子はこちら!

プロジェクトの歩みを
しまっち!でレポート
掲載しています



▲鈴木さん夫婦(左)と杉久保さん夫婦(右)

関係人口の声

広島から参加 鈴木さんご夫婦

島根は広島から近いこともあり、観光や温泉などを楽しみに足を運んでいました。新聞で「しまっち!」を知り、面白いプログラムがあれば参加してみようと登録。今回は街歩きやリノベーション体験を通じて都野津の人たちと交流でき、実りある時間を過ごせました。1回目の断熱ワークショップがとても楽しかったので、古民家再生に興味がある同僚の杉久保さんを2回目の壁塗りに誘いました! 今後もイベントやワークショップなどがあればぜひ参加したいです。

Shi-match



詳しくは
こちら▶



しまね関係人口マッチング・交流サイト

「しまっち!」で できること



「しまっち!」ってどんなサイト?

「しまっち!」は、島根といろんな関わりを持つ「関係人口」と呼ばれる人たちと、島根の地域団体の皆さんを繋ぐポータルサイトです。島根の地域団体がプログラム主催者(オーナー)となって様々な企画を掲載し、関係人口(サポーター)を募集することができます。サポーターの参加を募る「プログラム」や、「まずは知り合う」ための「コミュニティ」など無料でご利用いただけますので、ぜひお気軽にご活用ください。

地域団体等
(オーナー)



島根の地域団体等が
プログラムの参加者を募集

手伝って欲しい!



関係人口
(サポーター)



気になるプログラムを
自分で選んで参加できる

参加したい!

Features

しまっち!の特徴
【オーナーになるとできること】

m1
募集情報の掲載



m2
交流



m3
マッチング



しまっち! 2021.10 - 2022.12 の歩み

しまね関係人口マッチング・交流サイト

「しまっち!」を介して地域の新しい応援団がたくさん生まれています!



地域団体等
(オーナー) 65 団体



関係人口
(サポーター) 380 名

マッチング

51 件

プログラム

83 件

参加者数

153 名

活動レポート
一覧はこちら!



2022年12月31日現在



皆さんも「しまっち!」を活用して 関係人口と一緒に地域活動をしてみませんか?

オーナー登録
はこちら



まずはオーナー登録

オーナー登録すると使える4つの機能

プログラムやコミュニティの募集など「しまっち!」の機能を利用するには、オーナー登録が必要となります。簡単にご登録できます。あなたもオーナーになり、サポーターの方と交流を楽しんでみてください。



プログラム・コミュニティ・
オーナー情報の掲載



活動レポートの掲載



コメント機能の利用



プログラムに申込み・
参加いただいたサポーターへの
一括メール送信

登録されるオーナーの想いや活動の背景に共感するサポーターが集まります!

プログラムの掲載

プログラムとは、オーナーのやりたいことや困りごとについて、オーナーがサポーターの参加を募り、課題の解決や目標達成を目指すもの。募集の目的や背景、ストーリーなどを記し、参加を検討するサポーターへ情報提供し、サポーターとの関係づくりにお役に立ていただけます。



新しいことを
始めなくてOK



皆さんの普段から行っている地域活動が、十分にプログラムと成り得ます。これまで行ってきた活動の中で、地域外の人に関われる箇所は無いか、サポートして欲しいことは何か、を想像してみてください。



「しまっち!」への掲載が
活動のPRに



サポーターの多くは「地域で頑張る人・団体」のことを知りたがっています。「しまっち!」へ情報を掲載することで、「〇〇町でこんな活動を頑張っている方々がいるんだ!」と皆さんの活動をPRすることができます。



サポーターはお客様でも
労働者でもありません



サポーターは皆さんの活動に共感し参画してくれる「新しい地域の応援団」です。決してお客様としてもなし過ぎず、人手不足を埋める労働者として扱わず、一緒に地域を盛り上げていく「仲間」として取り組みましょう。

しまっち!を活用

プログラムの他にも…

活動レポートの掲載

活動レポートとは、プログラムの実施結果を掲載する記事のこと。参加ができなかったサポーターへ情報提供することで次回の参加へ繋げたり、振り返りを記すことで参加してくれたサポーターとの絆を深めるなど、関係構築にも役立てられます。ぜひ皆さんの地域活動の場としてご活用ください。

コミュニティ

サポーターとコメントのやり取りをして交流したり、皆さんの活動を気軽に紹介・報告する場所です。イベント情報を載せたり、ちょっとした出来事をサポーターへ届けましょう。

お気軽にご相談ください!

「しまっち!」にプログラムを載せてサポーターを募集したい!

どんなことが募集できる? など、お気軽に「しまっち!」事務局(ふるさと島根定住財団)までお問い合わせください。

また、「しまっち!」に掲載するプログラム(関係人口とともに取り組む持続可能な地域づくり活動)を応援する助成金もございます。併せてお問い合わせください。



地域づくりを支える
関係人口受入事業助成金

詳しくは
こちら▶



地域の活性化や課題解決に向け、地域団体が関係人口と一緒に取り組む持続可能な地域づくり活動を応援します!

対象	県内のNPO法人、民間団体やグループ(構成員5名以上)、商業法人等
対象事業	関係人口の受入れを促進する取組み
助成限度	10万円(対象経費10/10) ※年度内、1団体あたり

上記は令和4年度の助成内容です。令和5年度については「詳しくはこちら」からご確認ください。



∴ “いちじく”を通して関係性を深める ∴

「多伎いちじく」の収穫サポーター

(出雲市 多伎いちじく盛り上げ隊)



活動の様子をご紹介

出雲市多伎町はいちじくの名産地として知られていますが、高齢化や担い手不足によりいちじく農家は減少傾向に。「地域産業を衰退させないため、まずは多伎いちじくのファンを増やしたい」「農家と消費者の関係づくりがしたい」、そんな思いから、夏から晩秋にかけて行われる収穫作業のサポーターを募集しました。「しまっち!」では最高記録となる延べ35人が参加。当日は「多伎いちじく盛り上げ隊」の堀江さんによる、熟した実の見分け方や摘み取り方などのレクチャーからスタート。参加者たちはすぐに夢中になり、熱心に作業をしていました。参加者が農家さんと語り合い、家庭での食べ方や調理方法などの情報交換をする和やかなシーンも。いちじく好きな参加者と、農家さんとの関係性が深まり、多伎への興味も増した様子でした。

関係人口の声

残暑の時期だったので作業中はとても暑かったですが、だんだんと収穫に適した実が見分けられるようになり面白かったです。作業後にいただいたとれたてのいちじくは最高においしかったです! また来年も参加したいです。

いちじくが大好きなのでやりがいがありました。元々生産者さんやいちじく好きな方と繋がりたい想いがあり、今回のプログラムはまさしく探し求めていた内容! 果樹園のいい匂いに包まれながらサポートできて、とても充実感がありました。また来年も是非参加したいです。



check!

詳しい活動の
様子はこちら!



リーダーの声

「期間中に10人ぐらい来てくれればいいかな」と思っていたのですが、予想以上に集まってもらえて手応えを感じました。中には4回も参加して頼もしい戦力になってくださったリピーターの方も! 今回の「収穫サポーター」はレジャー的な果物狩りではなく、実際に市場に出す作物の収穫作業に参加してもらうという、少し踏み込んだ内容。趣旨を理解した熱心な方々が参加してくださったのは、関係人口に興味がある層が集まる「しまっち!」ならではの感覚です。プログラムを通じて、多伎いちじくのことを知ってもらう、農家と関係性を深めてもらうことだけでなく、多伎町に足を運んでもらうきっかけ作りになったと思います。

今後は、今年来てくれたサポーターとより深く繋がることと、少しずつ新たなサポーターを増やしていくことを考えていきたいです。

多伎いちじく盛り上げ隊
堀江 拓さん(右)
山田 真嗣さん(左)





∴ 心と心を灯で繋ぐ ∴

キャンドルナイト in 波根海岸

(大田市 キャンドルナイト in 波根海岸実行委員会)



活動の様子をご紹介します

2011年に地元有志が立ち上げた「キャンドルナイト in 波根海岸」。東日本大震災の復興を祈念するとともに「美しい海岸を見直し、波根を元気にしよう」という志を掲げ、スタートしました。10年以上取り組み続ける中で、人手不足やスタッフの高齢化が問題に。これからも継続していくため関係人口の力を借りようと、「しまっち!」で当日のお手伝いを募集。2022年の春・夏の開催時には各回3~4人が参加。初めて波根を訪れる人もいたため、まずはイベントを楽しみながら町の人と交流してもらいました。「しまっち!」でイベントを知り遊びに来た人も多数。地域外からさまざまな人に足を運んでもらったことを足がかりに、新しい組織づくりを検討中。次年度は関係人口の輪を広げることが目標の一つになっています。

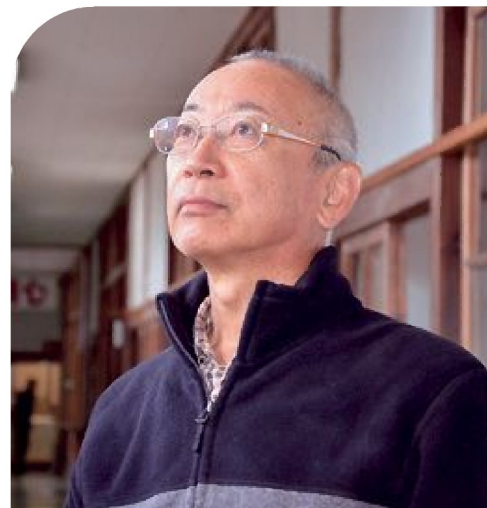
関係人口の声

春の「お花見キャンドルナイト」に参加しました。今回は一緒に遊びながら少しお手伝いをさせてもらい、地元の方とお話したり、けん玉に挑戦したり、手作りのぜんざいをいただいたり…。心あたたまるとも楽しい時間が過ごせました。また次回も参加して、力になればと思っています。

リーダーの声

地区内や近隣の方の認知度が高いキャンドルナイトですが、関係人口を広げるためには、とにかく地域外の人を知ってもらわなければいけません。2022年度は「しまっち!」でPRをしたことでイベントを見に来てくれる方が増え、一歩目が踏み出せたと感じています。地域外の方が来てくれると町の方の表情が明るくなったり、閉じこもりがちだった人が行事に関わるようになるなど、ポジティブな効果もあるようです。次年度は企画や準備の段階から関わってくれる方や、記録・広報をお手伝いしてくれる方などに参加してもらいたいため、募集方法を模索しています。必要な人材を集めるにはどのようなPRをしたらいいのか、定住財団の担当者と相談しながら新しい取り組みを練っていきたいです。

キャンドルナイト in 波根海岸実行委員会 田中 敬二さん



check!

詳しい活動の
様子はこちら!



関係機関
の取組

01

地域プログラムの担い手やサポーター を関係人口から開拓・育成 (一般社団法人飯南町観光協会)

土地に根差した伝統文化や農業、豊かな自然などを活用した観光プログラムに町を挙げて取り組んでいる飯南町。飯南町観光協会では、担い手の育成やサポーターが求められている活動をピックアップし、「しまっち!」で関係人口として関わってくれる人を募集しています。

check!
詳しい活動の
様子はこちら!



活動の様子をご紹介

森林セラピーロード®ウッドチップ敷きのサポート

アウトドアや自然に関心が高い人が多数参加。作業をしながら現地スタッフや森林セラピーガイド®と語り合い、交流を深めました。中には森林セラピーガイド®養成講座に申し込む人も。お手伝いだけでなく、次世代を担う人材の開拓にもつながりつつあります。



担当者の声

各地域で活動している主催団体は、外から来る人を迎え入れる体制ができていて、技術や知識を伝えて育成するノウハウがあります。観光協会の役割はそこに人を送り込むこと。「しまっち!」は目的意識が高く行動的な人が集まるサイトなので、現場とのマッチングがスムーズ。企画の段階から関わってくれる人や長く通ってくれる人などつながりやすいです。次年度も、モニターやアドバイザー的な関係人口が必要なプログラムで活用したいと思います。



飯南町観光協会 伊藤 和栄さん

「大しめなわ創作館」大しめ縄作りのサポート

高齢化によるしめ縄作りの担い手不足を解消するため、お手伝いを募集。県内だけでなく、広島、神奈川、東京などからも参加がありました。完成時は皆さん達成感に満ちた表情に。「来年もぜひ」「飯南町の良さを知れたので、また来たい」という声も届いています。



関係機関
の取組

02

「関係人口」と地域が作る『浜田応援団』 繋がりが地域を豊かに (浜田市)

活動の様子をご紹介

浜田市では、各地域で関係人口を呼び込むイベントや体験プログラムなどが行われています。県内外の人が知識やスキルを活かして浜田を応援するコミュニティ「浜田応援団」(地域政策部定住関係人口推進課)を主宰するなど、行政の取り組みも盛ん。関係人口事業を推進するため、レクチャーや情報発信にも取り組んでいます。

check!
詳しい活動の
様子はこちら!



担当者の声

想像以上にたくさんの団員を迎え入れることができ、正直びっくりしています。浜田応援団の中心は、浜田にルーツを持つ中高年。浜田から離れていてもふるさとを想い、「何か地元の役に立ちたい」と思い立った人たちです。また、ルーツはなくても石州和紙や石見神楽といった地域資源に心惹かれ、活動している人もいます。

一方で、地元側は「よそ者に頼っていいのだろうか」という抵抗感があります。この事業を通じて、地域や団員の皆さんとたくさんお話する機会を得ました。今後、お互いが気持ちの良い関係を築けることに留意しながら、より多くの地域と団員を繋いでいきたいです。



浜田市定住関係人口推進課 小川 敦さん



オンラインイベント

Shimatching

に参加してみませんか?
～島根とゆるくつながる場～

Shimatchingとは?

島根県で活動する地域の人々(オーナー)と、「地域と関わってみたい」「地域のことをもっと知りたい」と思っているサポーターとが繋がる「きっかけ作り」をするイベントです。

これまでオンラインを中心に実施し、中には〇〇町編、DIYワークショップ編など、テーマを設けた会も。地域やテーマに興味を持ったサポーターはもちろん、他の地域で活動されている方はオーナーの話に興味津々。

参加者の皆さんが自然体で過ごせる場を“ゆるく”不定期開催しています。きっとShimatchingがきっかけで、たくさんのお会いがあり、今後の活動の力になるはず。皆さんの活動を紹介してみませんか? 他地域の活動の様子を聞いてみませんか?

Shimatchingの
開催情報や過去の
様子はこちら



開催回数

7回
オンライン6回
対面1回

発表団体
(オーナー)

11団体

参加者数
(サポーター)

延べ91名

2022年12月31日現在

オンラインでの出会いをきっかけに、現地の活動へと繋がっています

空き家改修のサポート



現地プログラムにサポーターが参加!

第3回Shimatchingにてお話をいただいた「ねねね」のプログラム『喫茶スペース制作・什器制作などの改修作業のお手伝い募集』には、Shimatchingの参加者が数多く参加。

中には専門的なスキルや機材を持ったサポーターや何度も参加してくれたサポーターも。

このように、オンラインで繋がった方々が、皆さんの現地での活動に参加してくれるように!

活動レポート
はこちら



山林活用・整備のアドバイス



先輩オーナーからアドバイス!

Shimatchingに参加した、とある地域で頑張る方は、お話ししてくれたオーナーの活動や知識に驚き。

是非自分たちの地域を見て、アドバイスをして欲しい!と定住財団を介してオファー。

先輩オーナーに実際に現地へ足を運んでもらい、経験豊富な視点でアドバイスをもらいました。このように先輩オーナーにアドバイスをしたい地域や団体へ向けた制度「関係人口アドバイザー派遣」(下記参照)もあります。ぜひご利用ください。

オーナーを訪問



オーナーを訪ねて県外からも!

東北地方に住むふたりの大学生。Shimatchingでお話ししてくれたオーナー「結のひろば」さんの元へ、県外から会いに来てくれました。

『Shimatchingで知ったオーナーさんの取り組みとお人柄から一度島根には行きたいと思っていました』とのこと。日々の取り組みや想いが県外のサポーターにまで届いた嬉しい事例です。これもオンラインイベントならではの。

活動レポート
はこちら



関係人口 アドバイザー派遣事業

詳しくは
こちら▶



関係人口の受入れを検討する地域(団体)へ、アドバイザーを派遣します。まずは当財団までお気軽にご相談ください。ヒアリング後、案件に応じてアドバイザーを派遣します!

- アドバイザーへの謝礼・旅費を当財団が負担(1回あたりの旅費上限は5万円)
- 1団体につき延べ16時間以内/年、4回/年まで
- 一般的な講演会に類するものは対象外

上記は令和4年度の助成内容です。令和5年度については「詳しくはこちら」からご確認ください。

!! 関係人口は、地域の担い手になり得る!!

関係人口が、地域に関わりたいと思う動機・背景は様々です。大切なのは、受け入れる地域の皆さんが関係人口の気持ちを理解しながら、自分たちの活動にどうやって関わってもらうかを考えることです。

本冊子でご紹介した事例は、一度きりのイベント参加を目的とした働きかけや、単なる労働力としての募集ではありません。地域づくりにかける思いを共有し、一緒に取り組む仲間として受け入れようとしている事例です。

多様な動機・背景をもつ関係人口が、地域の担い手として一緒に活動してくれるようになるには、きっと時間がかかるものだと思います。丁寧なやり取りから生まれる関係性を楽しみながら「地域づくりの仲間づくり」に取り組んでいきましょう。

関係人口の受入れ心得!

point 01 関係人口は「地域づくりの新しい仲間」という意識を持つよう!

point 02 長期的な視点を持ち、関係性の発展を楽しもう!

point 03 受入地域と関係人口、お互いの「Win-Win」を大切にしよう!

point 04 その人なりの関わり方を「ヨシ」としよう! (関係性の発展につれて関係人口の意識も変化します)



【お問い合わせ・発行元】公益財団法人 ふるさと島根定住財団

ふるさと島根定住財団では、地域と関係人口が一緒に取り組む持続可能な地域づくりを応援しています! 各種支援制度もご準備しています。ぜひお気軽にご相談ください!

松江事務局
(地域活動支援課)

〒690-0003 島根県松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL: 0852-28-0690
E-mail: chiiki@teiju.or.jp

石見事務所

〒697-0034 島根県浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階
TEL: 0855-25-1600
E-mail: iwami@teiju.or.jp

こちらも
チェック!



県内市町村の下記窓口でも関係人口の受入れについてご相談いただけます。

松江市	定住企業立地推進課	TEL 0852-55-5215	川本町	まちづくり推進課	TEL 0855-72-0634
出雲市	政策企画課	TEL 0853-21-6614	美郷町	美郷暮らし推進課	TEL 0855-75-1212
安来市	やすぎ暮らし推進課	TEL 0854-23-3059	邑南町	地域みらい課	TEL 0855-95-1117
雲南市	うなん暮らし推進課	TEL 0854-40-1014	津和野町	つわの暮らし推進課	TEL 0856-74-0092
奥出雲町	まちづくり産業課	TEL 0854-54-2524	吉賀町	企画課	TEL 0856-77-1437
飯南町	まちづくり推進課	TEL 0854-76-2864	海士町	交流促進課	TEL 08514-2-0017
浜田市	定住関係人口推進課	TEL 0855-25-9511	西ノ島町	観光定住課	TEL 08514-6-1257
益田市	連携のまちづくり推進課	TEL 0856-31-0173	知夫村	地域振興課	TEL 08514-8-2211
大田市	まちづくり定住課	TEL 0854-83-8031	隠岐の島町	地域振興課	TEL 08512-2-8570
江津市	地域振興課	TEL 0855-52-7926			

2023年1月13日現在